

学校経営方針

1 学校経営の基盤

本校は昭和22年に創設され、創立73年、統合43年の学校である。

自然環境に恵まれた東成瀬村の田子内地区に建つ本校は、豊かな自然に囲まれ、四季の移り変わりが美しい環境にある。また、校内外の施設設備等、教育環境も充実している。

恵まれた自然環境と教育環境、小規模校である点を最大限に生かし、優れた教育効果をあげるために、本校職員一丸となって取り組んでいきたい。

(1) 地域の実態

東成瀬村は秋田県の東南端に位置し、東は岩手県、南は僅かに宮城県、西は横手市増田町と湯沢市皆瀬、そして北は横手市山内と接している。人口は2,546人、世帯数は883戸（H31年4月現在）で、少子高齢化が進んでいる。

市町村合併には加わらず、単独立村の道を進んでいる。「村づくりは人づくりから」として、教育には特に力を入れている。保護者の教育への関心も高く、地域の人々と共に学校教育には極めて協力的である。

(2) 生徒の実態（1年11名、2年19名、3年15名 計45名）

生徒は素直で協調的であり、課題に取り組む姿勢もおおむね良好である。当番活動、奉仕活動等にも真面目に取り組むことができる生徒が多い。全校生徒のまとまりもよく、学校行事、T S B活動等では学年の枠を越えて互いに協力する姿が見られる。

一村一小学校、一中学校であり、生徒は9年間ほぼ同じメンバーで生活している。そのため、比較的安定した人間関係が構築されている。上下関係も極めて良好であり、優しく思いやりのある態度で交流する姿が見られる。

一方、自分の考えをはっきりと表現する力に課題をもつ生徒が見られ、学力の個人差にも対応していかなければならない状況にある。個に応じたきめ細かな指導や探究型授業等を通じた基礎・基本の確実な定着と思考力・判断力・表現力等の育成が必要である。

2 学校経営の理念

少子高齢化、グローバル化の進展など、加速度的に変化し、将来の予測が難しい社会の中で、志をもちそれを実現するための、学力を身に付けさせ、心を育て、たくましい健康な体を身に付けさせることは、義務教育学校の使命である。特に、課題を解決するために主体的に考え、自分の考えをもち、表現していく力は、共生社会を生きる生徒にとって必要不可欠な力である。このような、生徒の夢の実現のため、努力する基礎となる力を身に付けさせるために、本地域の豊かな教育環境を生かした多様な教育活動を展開していきたい。

また、この教育活動の基盤は、生徒が安心して諸活動に取り組み、学び合い、高め合うことのできる教育環境である。失敗を許容し、互いに認め合える共感的な集団を構築し、一人一人が活躍し、可能性を伸ばしていける学校を創造したい。

そのために本村教育の軸である「小中連携教育」の理念をもとに、小中学校の連続性と系統性を重視し、生徒一人一人が、これからの人生をたくましく生き抜く力の礎を築くことを目指し、学校経営を推進していきたい。

3 学校教育目標

「大志を抱き 共に学び 心豊かで たくましく生きる生徒の育成」
～ 「未来」につながる「今」を大切にする教育の実践 ～

※未来を生き抜く生徒たちに、柔軟で幅広い学力を保障する

4 目指す学校像

- (1) 生徒にとって……学習内容が分かり、仲間と仲良く過ごせる魅力ある学校
- (2) 教職員にとって……持ち味を十分発揮できる、生徒の成長にやりがいを感じる学校
- (3) 保護者や地域にとって……思いや願いを共有し、共に生徒を成長させる学校

5 目指す生徒像

- (1) 志をもち、その実現のために努力する生徒
- (2) 知的的好奇心と向上心をもち、仲間と共に学び合う生徒
- (3) 優しさと思いやりをもち、共に認め合える心豊かな生徒
- (4) 「命」を大切にし、心と体を鍛えるたくましい生徒
- (5) ふるさとを愛し、ふるさとと共に生きようとする生徒

6 目指す教師像

- (1) 目指す教師集団
 - ①お互いに安らぎを得られ、協力性・協調性に富む集団
 - ②一体感をもって常に前進する集団
 - ③話し合い、議論し、相談できる集団

- (2) 目指す教師像
- ①生徒と共に歩む教師（共感，共汗，共励，共学）
 - ②研修を深め，楽しく分かる授業づくりに励む教師
 - ③生徒のよさを認め，ほめる場を設け，意欲と能力を引き出す教師
 - ④生徒の未来像を思い描きながら教育にあたる教師
 - ⑤温かさとしげしさがあひ，人間として信頼される教師

7 今年度の重点施策

- (1) 東成瀬の特性を生かす（東成瀬だからこそできる教育活動を通して）
- ①少人数・小規模のメリットを生かした教育の推進
 - ・一人一人に目を配る実践
 - ・一人一人が活躍できる実践
 - ②「小中連携教育」の充実
 - ・各活動に明確な意味付け，価値付けと実践，検証
 - ③多様な体験活動の充実
 - ・共に学び合う
 - ・「異質性」や「多様な価値観」に触れさせる
- (2) 仲間と共に主体的に学び合う生徒を育む（日々の授業改善による学力向上に向けた教育活動を通して）
- ①「探究型授業」を軸とした「対話」のある授業を実践する。
 - ・知識・技能の確実な定着と思考力・判断力・表現力の育成（小中共通実践）
 - ※「対話」：課題との対話（導入） 自己・仲間との対話（展開） 自己との対話（終末）
 - ・生徒主体の授業構想の推進（学び合いの重視）
 - ②教師のコーディネート力を高め，言語活動を活性化させる授業を実践する。
 - ・探究心・思考力を引き出す「仕掛け」の重視
 - ③読解力・思考力・表現力を向上させる学習活動を推進する。
 - ・自己思考と自己表現，意見交換させる場の設定
 - ④一人一人の学習状況を把握し，個に応じた指導を充実させる。
 - ・T Tの教育的効果向上に向けた実践
 - ・「揃える指導」「可能性を伸ばす指導」の工夫・教材開発
- (3) 心豊かな子どもを育む（「関わりの中で育てる」取組を通して）
- ①全教育活動を通して「道徳性」を育てる教育の充実させる。（人権と生命尊重の重視）
 - ②ちがいを受け止め，互いに認め合える共感的な人間関係を構築し，思いやりと助け合いの心を育てる。 「やさしく話そう」「あたたかく聴こう」
 - ③異質性や多様な生き方や考え方に触れさせる学習活動を充実させ，社会性を養う。
 - ④自他の人生や命を大切にす思いやりの心を育て，いじめのない学校を創造する。
- (4) 健やかな心と体を育む（心と体を一体と捉えた健康教育の推進）
- ①基本的な生活習慣を定着させる。
 - ②生涯にわたった健康づくりにつながる食育を推進する。
 - ③「人命尊重」を基調とする防災，安全教育を推進する。
 - ④運動の楽しさを味わわせ，生涯スポーツへの関心を高める体育的行事や部活動等を推進する。
 - ⑤心身共に健康なライフスタイルづくりへの意識高揚
- (5) 志をもち，たくましく生き抜く子どもを育む（キャリア発達を促す取組を通して）
- ①志や希望，目標について考えさせる場を設け，将来への夢をもち，その実現のために努力しようとする態度を養う。
 - ②「ふるさとでの学び」を充実させ，ふるさとを愛し，ふるさとと共に生きようとする生徒を育てる。（異年齢等「多様な集団」での学びの構築）
 - ③未来の自分を見つめる教育の推進（職場体験等の社会体験学習を充実させる）
 - ④チャレンジ精神の醸成（向上心をもって多様なスポーツ，文化活動への挑戦）
- (6) 積極的な生徒指導の充実
- ①生徒の主体的な活動を促す場の設定
 - ②日常的な生徒理解の充実（共感的な人間関係の構築：いじめ，不登校の未然防止）

<関連した具体策>

- 思考を促し，学びを整理する板書の工夫・ノート指導
- 読解力や表現力向上のための視写と意見文の取り組み
- 読書指導の充実
- 自主学習の習慣化と個別支援
- 心と体のバランスを図るための計画的な保健安全指導の充実
- 学校行事等「特色ある教育活動」の展開による集団への所属感・連帯感の育成
- オープン授業「やっぺらんし」等，校内研修の日常化
- 地域人材等ゲストティーチャーの効果的活用